



高道小だより

共感力（にこにこ） 考動力（はきはき） やり抜く力（こつこつ）

令和7年10月31日

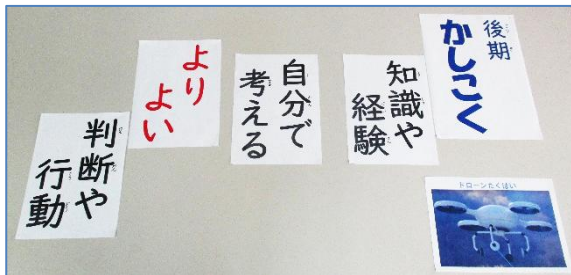
第9号

文責 柳井 雅衣

後期スタート、「かしこく」なろう！

後期の始業式には、校訓「**なかよく かしこく たくましく**」から、特にがんばってほしいこととして「**かしこく**」について話しました。

「**かしこく**なるということは、しっかりと学んで、たくさんの知識や経験をもち、自分で考えて判断や行動ができるようになることです。ここで大切なのが、**よりよい判断や行動**であることです。（人々の生活を便利で豊かにする可能性を秘めたドローンが、兵器として使われている事例を出して**よりよい**を伝えました）



これは高道小で育みたい力、**考動力**ともつながります。**かしこい人**は、いじめや差別をしません。自分もまわりの友だちもみんな幸せになるために、たくさん学び**かしこく**なる後期にしましょう。みなさんの成長を見守ります。」

子どもたちは、黙って考えながら話を聴いてくれました。成長期の小学生たち、折にふれ、自分を見つめ直す機会を作り伝えていきます。

地域の先生、ありがとうございます



おたわら 大俵まつり講座、ミシン、そろばん 支えに感謝です。



実りの秋！校外学習での**考動力**発揮

9～10月は、校外に出かけ、体験を通して学ぶ行事がたくさんありました。

【1・2年生 見学旅行】バスで大牟田市動物園へ行き、動物の観察をしました。2年生が1年生をリードして班で見学できました。

【3年生 見学旅行】スーパーや豆腐工場へ行き、仕事の工夫をたくさん見つけました。消防署や防災センターも見学できました。

【4年生 見学旅行】清和文楽や円形分水、国宝通潤 橋を見学しました。先人の知恵と地域の人々の思いや願いを学びました。

【5年生 集団宿泊教室】11月、水俣病問題について学びを深めに行きます。芦北青少年の家での集団生活で友愛等の力を育みます。

【6年生 修学旅行】1日目、原爆が投下された長崎へ行き、被爆者のお話を聞く平和学習、原爆資料館などをめぐるフィールドワークを行い、戦争と平和について考えました。2日目、ハウステンボスでの班活動では友だちと楽しい思い出づくりができました。



明るく元気な6年生たちは、学ぶ時と楽しむ時のけじめをつけ、話をよく聴き、資料館では時間が足りないくらい熱心に見学。集合時刻を確めながら行動し、充実した修学旅行にできました。**共感力・考動力・やり抜く力**を見事発揮！

本物を見る、実際に行って感じる、感動することは、とても大切な学びの要素です。どの学習も、きっと大切な思い出になるでしょう。お世話になった見学地の方々、弁当などの準備では保護者の皆様ありがとうございました。